



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月2日

上場会社名 名古屋電機工業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6797 URL https://www.nagoya-denki.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 高明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 昭秀 TEL 052-443-1111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,314	18.1	1,944	—	1,969	774.7	1,358	628.3
2020年3月期第3四半期	10,424	△12.9	162	△61.5	225	△51.1	186	△66.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,360百万円 (365.5%) 2020年3月期第3四半期 292百万円 (△60.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	233.66	—
2020年3月期第3四半期	32.23	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2021年3月期第3四半期	21,330	14,042	65.8	2,411.09
2020年3月期	20,153	12,866	63.8	2,217.82

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 14,042百万円 2020年3月期 12,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年3月期	—	10.00	—		
2021年3月期（予想）				50.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 配当予想の修正につきましては、本日（2021年2月2日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	12.0	4,100	142.6	4,200	137.1	3,000	108.7	515.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正につきましては、本日（2021年2月2日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の動向次第では大きく変動する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	6,422,000株	2020年3月期	6,422,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	597,682株	2020年3月期	620,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,815,036株	2020年3月期3Q	5,788,444株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、一部では持ち直しの動きがみられました。一方、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動の影響などにより、依然としてわが国経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、老朽化したインフラの大規模修繕などもあり堅調に推移しております。そのような状況下、規制区間の交通安全に役立つシステムの提案などを行い市場拡大を進めてまいりました。

一方、民需を主とする検査装置事業につきましては、企業の設備投資は弱含んでおります。そのような状況下、他社製品との差別化競争は激しさを増しており、受注獲得のため、極小部品対応や高速化など顧客ニーズに特化した製品開発に取り組み、収益改善に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高123億14百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益19億44百万円（前年同期比12.0倍）、経常利益19億69百万円（前年同期比774.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益13億58百万円（前年同期比628.3%増）となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末日現在の受注残高は169億円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 情報装置事業

情報装置事業において、前年度売上計上予定案件の工期延期により当年度売上計上となったことや、受注済み案件の仕様変更による契約金額増額などにより売上及び利益が増加しました。また、収益管理強化に努めたことや、新型コロナウイルス感染症対策として、在宅勤務やオンライン会議を推進したことによる経費削減効果などにより前年同期に比べ採算性は良化しました。

この結果、売上高114億25百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益26億57百万円（前年同期比265.4%増）となりました。

## ② 検査装置事業

半導体需要の増加により、X線検査装置やICチップ搬送装置の販売は堅調に推移しました。一方、主力の3次元基板外観検査装置やはんだ印刷検査装置などの販売は前年の大型案件の反動減により低迷しました。

この結果、売上高8億89百万円（前年同期比18.2%減）、営業損失1億60百万円（前年同期は93百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は173億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億31百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が29億25百万円減少したものの、現金及び預金が26億29百万円、仕掛品が17億45百万円増加したことによるものであります。固定資産は40億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億54百万円減少いたしました。これは有形固定資産が2億49百万円、無形固定資産が17百万円、投資その他の資産が86百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、213億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億77百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は72億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債務が2億73百万円、賞与引当金が2億20百万円減少したものの、前受金が7億39百万円増加したことによるものであります。固定負債は52百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、72億87百万円となり、前連結会計年度末に比べほぼ横ばいとなりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における株主資本は137億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億75百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が11億55百万円増加したことによるものであります。その他の包括利益累計額は2億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは退職給付に係る調整累計額が23百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が25百万円増加したことによるものであります。

この結果、純資産合計は、140億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億76百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、売上高213億円、営業利益41億円、経常利益42億円、親会社株主に帰属する当期純利益30億円に修正しております。但し、現時点では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響は織り込んでおりません。従って、今後の経済活動への影響が長引き、当社グループの業績に大きな影響がある場合、変更になる可能性があります。詳細につきましては、本日開示の「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,098,570	6,727,986
受取手形及び売掛金	8,195,677	5,269,849
電子記録債権	340,715	541,941
商品及び製品	73,006	65,835
仕掛品	2,299,428	4,044,654
原材料及び貯蔵品	694,144	586,684
その他	78,674	73,784
貸倒引当金	△1,419	△664
流動資産合計	15,778,798	17,310,071
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,929,724	1,692,041
その他(純額)	711,178	699,311
有形固定資産合計	2,640,903	2,391,353
無形固定資産		
のれん	96,335	77,068
その他	110,185	111,630
無形固定資産合計	206,521	188,699
投資その他の資産		
投資有価証券	945,857	978,695
その他	581,519	461,870
投資その他の資産合計	1,527,376	1,440,566
固定資産合計	4,374,801	4,020,618
資産合計	20,153,599	21,330,690
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,213	895,563
電子記録債務	3,172,103	2,898,466
未払法人税等	245,749	410,298
前受金	958,837	1,697,904
賞与引当金	439,888	219,213
役員賞与引当金	54,333	25,722
製品保証引当金	92,079	110,072
工事損失引当金	109,343	54,005
その他	1,180,949	923,922
流動負債合計	7,232,498	7,235,168
固定負債		
退職給付に係る負債	22,855	23,654
その他	32,075	28,935
固定負債合計	54,930	52,590
負債合計	7,287,428	7,287,759
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,184,975	1,184,975
資本剰余金	1,105,345	1,108,440
利益剰余金	10,784,900	11,940,341
自己株式	△451,049	△434,353
株主資本合計	12,624,170	13,799,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,739	204,142
退職給付に係る調整累計額	63,260	39,385
その他の包括利益累計額合計	241,999	243,528
純資産合計	12,866,170	14,042,931
負債純資産合計	20,153,599	21,330,690

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	10,424,414	12,314,384
売上原価	8,142,926	8,124,510
売上総利益	2,281,488	4,189,874
販売費及び一般管理費	2,118,822	2,245,184
営業利益	162,666	1,944,689
営業外収益		
受取配当金	23,916	23,088
廃材処分収入	3,673	4,047
不動産賃貸料	31,831	15,088
その他	17,067	10,719
営業外収益合計	76,489	52,942
営業外費用		
支払保証料	10,536	11,447
減価償却費	3,271	—
売上割引	—	7,110
事故関連費用	—	7,727
その他	142	1,590
営業外費用合計	13,950	27,875
経常利益	225,204	1,969,756
特別利益		
固定資産売却益	69,954	14,471
投資有価証券売却益	30,315	4,512
特別利益合計	100,269	18,983
税金等調整前四半期純利益	325,474	1,988,739
法人税、住民税及び事業税	49,363	505,664
法人税等調整額	89,540	124,359
法人税等合計	138,903	630,023
四半期純利益	186,570	1,358,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,570	1,358,716

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	186,570	1,358,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148,697	25,403
退職給付に係る調整額	△43,086	△23,874
その他の包括利益合計	105,611	1,528
四半期包括利益	292,182	1,360,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,182	1,360,245
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,337,617	1,086,797	10,424,414	—	10,424,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,337,617	1,086,797	10,424,414	—	10,424,414
セグメント利益又は損失(△)	727,200	△93,104	634,095	△471,429	162,666

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△471,429千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,429千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,425,244	889,139	12,314,384	—	12,314,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,425,244	889,139	12,314,384	—	12,314,384
セグメント利益又は損失(△)	2,657,499	△160,221	2,497,277	△552,587	1,944,689

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△552,587千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△552,587千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。